

令和2年度文化庁委託事業

東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 開催要項

- 1 事業名 令和2年度文化庁委託事業 東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会
- 2 趣 旨 劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図る。
アートマネジメント研修会については、各地域において、劇場・音楽堂等の優れた自主事業等を企画する能力、管理運営能力の養成を図るため、劇場・音楽堂等の職員等を対象とした研修会を実施する。
- 3 主 催 文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会
- 4 開催期間 令和2年10月9日(金)〔1日間〕
- 5 会 場 岐阜市文化センター
小劇場
〒500-8842 岐阜市金町5丁目7番地2
電 話 058-262-6200
- 6 日程及び内容 別紙のとおり
- 7 受講対象者 (1) 全国の劇場・音楽堂等の管理・運営・事業に携わる者、地方公共団体の文化芸術行政担当者・技術担当者、舞台芸術創造団体関係者、アートマネジメント教育関係者、アートマネジメントを学んでいる学生他。
(2) 全国の劇場・音楽堂等の舞台技術管理者、舞台技術管理責任者、舞台技術担当職員。
※公文協の会員だけでなく、非会館職員、民間企業社員、学生等も参加いただけます。
※他の地域から参加の申し込みがあった場合、人数等不都合が無ければ受講は可能です。
- 8 申込方法 「参加申込書」に必要事項を記入の上、メール・ファックス・郵送のいずれかで提出してください。また、別紙の質問用紙については、記載の宛先にメール又はファクスでお送りください。
- 9 申込期日 令和2年9月25日(金)(定員250名(収容定員500名の半分)に先着順にて達した場合は申込を締切とします)
- 10 参加費 無 料
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、情報交換会は実施致しませんので、ご了承ください。
- 11 申込書提出先 (公社)全国公立文化施設協会東海北陸支部事務局
愛知県芸術劇場 劇場運営部劇場運営グループ 担当：富田・廣田
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
電 話：052-971-5609 FAX：052-971-5541
Eメール：tokaihokuriku@aaf.or.jp

令和2年度文化庁委託事業
東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

日程・内容

◆日 程 令和2年10月9日(金)

◆会 場 岐阜市文化センター 小劇場

◆内 容

〔研修会Ⅰ〕 「新しい生活様式」での会館運営と今後の動向

(講演Ⅰ) 『コロナ禍での会館運営を振り返って』

講 師：松本 辰明 (公益社団法人全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長)

全公文が国の方針を基に作成・発表した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を踏まえて、コロナ禍の中、文化施設が果たす社会的役割について伺います。

〔研修会Ⅱ〕 「コロナ禍」と「新しい生活様式」を経て(1)

(講演Ⅱ) 『アートの現場から見る今後の館のセルフプロデュース方法』

講 師：來住 尚彦 (一般社団法人アート東京 代表理事)

コロナ禍の中、新しい生活が提唱されていることを踏まえ、文化施設の事業は今後どのように展開するべきか、事例紹介を通じて、地域に求められる文化施設の役割や在り方を探ります。

〔研修会Ⅲ〕 「コロナ禍」と「新しい生活様式」を経て(2)

(講演Ⅲ) 『これからの5年で起こる変化と2025年問題を見据えた会館運営』

講師：細野 健一郎 (岐阜新聞社 読者局長)

団塊の世代が後期高齢者となり、超高齢社会と予測される2025年以降を見据えた文化施設の運営について、地元の状況を踏まえて、社会的な側面から解説して頂きます。

〔研修会Ⅳ〕 講師3名によるディスカッション

テーマ「コロナ禍から新しい生活様式での会館運営と今後」

講師：松本 辰明、來住 尚彦、細野 健一郎

先の各講演を踏まえ、コロナ禍の中で、地域に求められる文化施設の役割や在り方について、参加者からのアンケートの質問にお答え頂きながら、自由闊達に意見を述べていただき、本テーマについての問題意識の共有や理解深化を図ります。

◆タイムスケジュール

	日 時	内 容
10月9日(金)	9:30~10:00	受付
	10:00~10:10	開講式
	10:10~10:50	〔研修会Ⅰ「講演Ⅰ」〕(40分)
	10:50~11:00	休憩
	11:00~11:40	〔研修会Ⅱ「講演Ⅱ」〕(40分)
	11:40~11:50	休憩
	11:50~12:30	〔研修会Ⅲ「講演Ⅲ」〕(40分)
	12:30~13:30	休憩
	13:30~15:20	〔研修会Ⅳ「ディスカッション」〕(110分)
	15:20~15:30	閉講式

令和2年度全国公立文化施設協会東海北陸支部 第1回支部研修会

開催要項

- 1 事業名 令和2年度全国公立文化施設協会東海北陸支部 第1回支部研修会
- 2 趣 旨 劇場・音楽堂等の公立文化施設の職員等を対象に、業務管理研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
- 3 主 催 公益社団法人全国公立文化施設協会東海北陸支部
- 4 開催日 令和2年10月9日（金）
- 5 会 場 岐阜市文化センター
小劇場、展示室
〒500-8842 岐阜市金町5丁目7番地2
電 話 058-262-6200
- 6 日程及び内容 添付 日程・内容 のとおり
- 7 受講対象者 (1) 全国の劇場・音楽堂等の管理・運営・事業に携わる者、地方公共団体の文化芸術行政担当者・技術担当者、舞台芸術創造団体関係者、アートマネジメント教育関係者、アートマネジメントを学んでいる学生他。
(2) 全国の劇場・音楽堂等の舞台技術管理者、舞台技術管理責任者、舞台技術担当職員。
※公文協の会員だけでなく、非会館職員、民間企業社員、学生等も参加いただけます。
※他の地域から参加の申し込みがあった場合、人数等不都合が無ければ受講は可能です。
- 8 申込方法 「参加申込書」に必要事項を記入の上、メール・ファックス・郵送のいずれかで提出してください。
- 9 申込期日 令和2年9月25日（金）（定員58名（収容定員117名の半分）に先着順にて達した場合は申込を締切とします）
- 10 参加費 無料
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、情報交換会は実施致しませんので、ご了承ください。
- 11 連絡・問い合わせ先 (公社) 全国公立文化施設協会東海北陸支部事務局
愛知県芸術劇場 劇場運営部劇場運営グループ 担当：富田・廣田
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
TEL：052-971-5609 FAX：052-971-5541
E-mail：tokaihokuriku@aaf.or.jp
- 12 その他 支部研修会「コロナ禍での『広報』を語る」に参加頂く方は、当日所属する施設の広報誌をお持ちください。（可能な方のみ）

令和2年度全国公立文化施設協会東海北陸支部 第1回支部研修会

日程・内容

●日 程： 令和2年10月9日（金）

●開催地： 岐阜市文化センター 小劇場 展示室

●内 容：【1】講演Ⅰ「新しい生活様式」での会館運営と今後の動向
『コロナ禍での会館運営を振り返って』

講 師：松本 辰明（公益社団法人全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長）

全公文が国の方針を基に作成・発表した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を踏まえて、コロナ禍の中、文化施設が果たす社会的役割について伺います。

講演Ⅱ「コロナ禍」と「新しい生活様式」を経て（1）

『アートの現場から見る今後の館のセルフプロデュース方法』

講 師：來住 尚彦（一般社団法人アート東京 代表理事）

コロナ禍の中、新しい生活が提唱されていることを踏まえ、文化施設の事業は今後どのように展開するべきか、事例紹介を通じて、地域に求められる文化施設の役割や在り方を探ります。

講演Ⅲ「コロナ禍」と「新しい生活様式」を経て（2）

『これからの5年で起こる変化と2025年問題を見据えた会館運営』

講 師：細野 健一郎（岐阜新聞社 読者局長）

団塊の世代が後期高齢者となり、超高齢社会と予測される2025年以降を見据えた文化施設の運営について、地元の状況を踏まえて、社会的な側面から解説して頂きます。

（以上の講演Ⅰ～Ⅲは、文化庁委託事業アートマネジメント研修会と共通）

【2】研修会

コロナ禍での「広報」を語る。－これからの広報に必要なものとは－

事業の中止・延期が急遽決まるコロナ禍で、広報誌やWebサイトの急な差し替え対応、SNSや動画配信を駆使した積極的な発信など事例をご紹介頂きながら、これからの広報のあり方についての座談会を行います。

講師：長野 隆人（いわき芸術文化交流館アリオス副館長心得）

小出 充訓（愛知県芸術劇場広報マーケティンググループ シニアスタッフ）

司会：宇田 恭子（三重県総合文化センター 総務部企画広報係長）

●タイムスケジュール：

時 間	内 容	場 所
9：30～10：00	受付	
10：00～10：10	開講式	
10：10～10：50	【1】講演Ⅰ（40分）	小劇場
10：50～11：00	休憩（10分）	
11：00～11：40	【2】講演Ⅱ（40分）	小劇場
11：40～11：50	休憩（10分）	
11：50～12：30	【3】講演Ⅲ（40分）	小劇場
12：30～13：30	休憩（60分）	
13：30～15：20	【3】支部研修会（110分）	展示室
15：20～15：30	閉講式	小劇場

令和2年度文化庁委託事業 東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会
 令和2年度全国公立文化施設協会 東海北陸支部 第1回研修会

全体スケジュール

会場：岐阜市文化センター

東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（会場：小劇場（2F））		東海北陸支部 第1回研修会（会場：展示室（3F））	
時間	内容	時間	内容
9:30～10:00	受付(共通)		
10:00～10:10	開講式(共通)		
(研修会全体テーマ) 「コロナ禍」から「新しい生活様式」での会館運営と今後			
10:10～10:50	研修会Ⅰ (共通)	[講演Ⅰ] 「新しい生活様式」での会館運営と今後の動向 『コロナ禍での会館運営を振り返って』 講師：松本 辰明（公益社団法人全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長）	
10:50～11:00	休憩		
11:00～11:40	研修会Ⅱ (共通)	[講演Ⅱ] 「コロナ禍」と「新しい生活様式」を経て（1） 『アートの現場から見る今後の館のセルフプロデュース方法』 講師：來住 尚彦（一般社団法人アート東京 代表理事）	
11:40～11:50	休憩		
11:50～12:30	研修会Ⅲ (共通)	[講演Ⅲ] 「コロナ禍」と「新しい生活様式」を経て（2） 『これからの5年で起こる変化と2025年問題を見据えた会館運営』 講師：細野 健一郎（岐阜新聞社 読者局長）	
12:30～13:30	休憩		支部研修会
13:30～15:20	研修会Ⅳ	13:30～15:20	コロナ禍での「広報」を語る。 -これからの広報に必要なものとは- 講師：長野 隆人（いわき芸術文化交流館アリオス副館長心得） 小出 充訓（愛知県芸術劇場 広報マーケティンググループ シニアスタッフ） 司会：宇田 恭子（三重県総合文化センター総務部企画広報係長）
15:20～15:30	閉講式(共通)		

10月9日(金)